

「岡山桃太郎空港機能強化事業」に対する県民意見等の募集結果について

令和8年6月26日から令和8年7月25日までの間、「岡山桃太郎空港機能強化事業」について、おかやま県民提案制度（パブリック・コメント）により、ご意見を募集したところ、次の12件が寄せられました。

これらのご意見等に対する県の考え方を掲載しておりますのでご覧ください。貴重なご意見ありがとうございました。

<寄せられたご意見と県の考え方>

No	ご意見の要旨	ご意見に対する考え方
1	【利用者見込】 国際線 85 万人は過大評価であり、数算出法に関して、近隣空港の各需要との関係が記されていない。あたかも瀬戸内地域において 岡山空港オンリーの前提となっていることが甚だ疑問である。	需要予測は、将来推計人口やGDP等を指標に統計分析的な手法を用いて、岡山桃太郎空港の将来の市場規模を予測したものであり、訪日時における岡山桃太郎空港の選択率もその要素に含まれております。
2	【施設機能別利用見込】 空港自体の増改築は必要と考えるが、この事業評価調書を前提とすれば、施設整備計画を大幅に見直し縮減し、必要最低限の事業費とすべきと考える。	基本計画においては機能強化に必要な最小の規模としており、必要な施設・設備等は着実に整備しつつ、効果の検証を継続し、可能な限りのコスト縮減に努めてまいります。
3	【国内線の新規路線誘致】 仙台、秋田、青森などの東北や、小松などの北陸、松本などの中部等の新規路線を開設してほしい。	東北・中部地方等への新規路線の開設には、双方の地域における安定的な航空需要が必要であることから、今後の需要動向を見極めつつ、路線開設の可能性について研究してまいります。
4	【リムジンバス】 岡山駅からの交通がバスのみであり、本数も限られているので増便してもらいたい。	岡山駅発の空港リムジンバスについては、岡山桃太郎空港を出発する飛行機のダイヤに合わせて運行されておりますが、利用者の利便性向上を図るため、引き続き、運行事業者と協議してまいります。
5	【施設整備内容】 空港を利用する時、1階は暗くて、2階は狭く感じるので、利用する人が快適さを感じるような整備をしてほしい。	利用者の利便性、快適性が向上する整備となるよう検討を進めてまいります。

No	ご意見の要旨	ご意見に対する考え方
6	【施設整備内容】 リムジンバスの乗降場には歩道部分にしか庇がない。雨の日に乗降客や荷物が濡れることがあるため、バス停車位置まで庇を張り出してほしい。	二次交通事業者と協議を行いながら、利用者の利便性、快適性が向上する整備となるよう検討を進めてまいります。
7	【旅客ターミナル等の設計】 岡山桃太郎空港の旅客ターミナルビルの整備に当たり、施設の利便性や快適性の向上だけでなく、岡山県ならではの観光資源を活用し、空港そのものを訪れたい場所とする視点も設計に取り入れてほしい。	機能強化事業において、多目的スペースなど本県独自の観光資源を活用することが可能な空間づくりに取り組むこととしており、引き続き、空港を訪れたい工夫について、様々な角度から検討してまいります。
8	【財源】 活用を想定している起債での償還、交付税措置等を明らかにすべきである。	今後、基本設計を進めながら事業費を精査し、その中で具体的な財源についても、あわせて検討してまいります。
9	【コンセッション】 官発注ありきではなく、コンセッションの公募を行い、応募者・候補者がいなければ官ですべきである。 <複数意見(同趣旨のものを含む)>	今回の機能強化事業は、県が主体となって整備を行うこととしておりますが、将来的なコンセッションの導入については、基本構想で整理したメリット・デメリットや先行事例の状況などを踏まえ、引き続き検討してまいります。
10	【民間活用】 300 億円もかけて「部分新築＋既存施設改修」は無駄である。民間主導の方が、柔軟なアイデアを期待できるため、設計・施工一括発注方式(DB方式)の活用も視野に入れ公募すべきである。 <複数意見(同趣旨のものを含む)>	事業費及び管理運営費の精査を進めるとともに、必要な機能強化となるよう民間活力の導入についても、さらなる検討を進めてまいります。
11	【国内線増築】 日本人の人口減少で国内線の伸びの鈍化が予想されるが、より多くの県民が利用する国内線も増築すべきではないか。	国内線エリアについても、エスカレーター、エレベーターの増築対応に加え、レイアウトの再配置等により、旅客の利便性・快適性の向上を図ることとしております。

No	ご意見の要旨	ご意見に対する考え方
12	【その他】 岡山県の空の玄関である岡山桃太郎空港の機能強化事業について、県民や観光客・ビジネス客の利用増と、それによる岡山市はじめ県全体の経済の浮揚を期待しているところだが、岡山市等の進める観光・産業・交通施策とも密接に関係することから、事業内容や需要見通し、スケジュール等の情報共有を徹底し、各自治体の意見を取り入れながら事業に取り組んでいただきたい。	機能強化事業の成果を生かし、旺盛なインバウンド需要の取り込み等を図ることは、お話の県全体の経済の浮揚が期待できるものであります。これまでも事業内容や需要見通し等については、広くお示ししてきたところであり、引き続き情報共有を図り、必要に応じて市町村等関係者のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。